



長期実務実習が始まりました

5月13日(月)から7月26日(金)まで、薬学部5年生を対象とした長期実務実習(男性5名、女性4名)を行っています。薬物治療の有効性と安全性向上に貢献できる薬剤師を目指して、知識と技能の修得に精力的に取り組んでいます。服薬指導等で病棟を訪れた際はよろしくお願いいたします。

抗がん剤オーダー時は「規格なし」をお願いします

抗がん剤オーダー時は、「規格なし」を選択することで、最も安価な組み合わせにすることができます。抗がん剤は特に高価ですので、患者負担軽減及び医薬品購入費削減のために、ご協力よろしくお願いいたします。

規格を指定して処方した場合

Rp	項目名称	数量	単位	変更
1	ハーセプチン 150mg	360	mg	変更
	生理食塩水フラボトル 250mL	1	v	変更

※フリーコメントは、右クリックメニューより選択して下さい

「規格なし」で処方した場合

Rp	項目名称	数量	単位	変更
1	ハーセプチン 150mg	300	mg	変更
	ハーセプチン 60mg	60	mg	変更
	生理食塩水フラボトル 250mL	1	v	変更

※フリーコメントは、右クリックメニューより選択して下さい

135,891 円

32,118 円安くなります

調剤室の電話番号変更のお知らせ

これまで 2706 が調剤室の電話番号として登録されていましたが、6月3日(月)より使えなくなります。調剤室に御用の方は、2669 又は 2670 にご連絡下さい。

「ケアラム錠」安全性速報

★ケアラム錠 25mg(イグラチモド)とワルファリンとの相互作用が疑われる重篤な出血について

今般、抗リウマチ剤「ケアラム錠」(以下「本剤」)とワルファリンとの相互作用が疑われる肺胞出血による死亡例が報告されました。2012年9月12日から2013年5月17日までの間に、本剤とワルファリンの相互作用が否定できないとされた出血または血液凝固能検査値の異常変動(PT-INR 増加)症例は6例[うち重篤3例(死亡例を含む)]とされています。このような状況を考慮し、本剤とワルファリンとの併用は「禁忌」(以下参照)となりました。

【併用禁忌】ワルファリン(ワーファリン等)：

(併用によりワルファリンの作用が増強され、重篤な出血をきたした症例が報告されている。

ワルファリンの治療を必要とする場合はワルファリンの治療を優先し、本剤を投与しないこと。)

本剤使用の際は、以下の事項に十分ご注意ください。

1. 現在ワルファリンを併用している患者については、本剤の服用中止を検討すること
2. ワルファリンの治療を必要とする患者には、本剤を投与しないこと

院内副作用報告

★2013年4月に報告された副作用

医薬品名	副作用名
イノレット 30R 注	低血糖昏睡
フェロン	急性腎不全、急性心膜心筋炎

「ファンギゾンシロップ 100mg/mL」、「プロチンシロップ 3.3%」、 「ホストイン静注 750mg」品薄のお知らせ

★ファンギゾンシロップ 100mg/mL(一般名:アムホテリシン B) <抗真菌剤>

輸入を予定していた製造所変更の承認に時間を要し、出荷が遅れることが予測されるため、7月中旬頃まで出荷が一時的に調整されることになった。※本剤による治療の必要性の高い小児患者への出荷を優先

★プロチンシロップ 3.3%(一般名:桜皮エキス) <鎮咳去痰剤>

原料となる山桜原木の調達に国内木材伐採量減少により困難となり、減産することとなった。

★ホストイン静注 750mg(一般名:ホスフェニトインナトリウム) <抗けいれん薬>

海外委託工場での製造上のトラブルがあり、製品の入荷が遅れることとなった。次回入荷は9月末予定。

代替薬:アレビアチン注 250mg

緊急購入薬の診療科限定オーダ開始のお知らせ

下記緊急購入薬の診療科限定オーダを開始します。

オーダ開始日	緊急購入薬	対象診療科
2013. 5. 21	ホスリボン配合顆粒 0.48g/包	小児科

投与期間制限解除のお知らせ

★キックリン cap250mg(一般名:ピキサロマー) <高リン血症治療剤>

薬価収載後1年が経過したため、2013年6月1日から投与期間制限が解除され長期投与可能

適正使用のお願い

★ディナゲスト錠 1mg(一般名:ジエノゲスト) <子宮内膜症治療剤>

ディナゲスト錠 1mgにおいて、2008年1月に販売開始以降、重篤な不正出血発現例が54例報告されている(2013年4月1日時点)。このうち、患者背景として、48例が子宮腺筋症合併例であり、また、高度の子宮腫大あるいは重度の貧血の既往又は合併のある症例が報告されている。本剤投与の際は以下の点に注意すること。

1. 異常が認められた場合は早めに受診するよう、患者に指導すること
 - ・本剤投与開始に先立ち、患者に「重度の貧血があらわれることがあり、まれに大量の不正出血があらわれるおそれがある」ことを十分に説明すること
 - ・出血量が多く持続日数が長い場合や、一度に大量の不正出血が認められた場合には、すぐに医師へ相談するよう指導すること
2. あらかじめ患者の状態を確認し、観察を十分に行うこと
 - ・重篤な不正出血発現例の多くは子宮腺筋症を合併する症例であった
 - ・子宮腺筋症合併症例に投与する場合、高度の子宮腫大あるいは重度の貧血の既往又は合併症例については、特に慎重に投与すること

★サムスカ錠 15mg(一般名:トルバプタン) <V₂-受容体拮抗剤>

サムスカ錠において、国内市販後に重篤な肝機能障害が26例(2013年4月24日現在)発現している。重大な肝機能障害回避のため、頻回に肝機能検査を行うこと。

販売移管、製造販売承継のお知らせ

以下の薬剤の販売元等を変更

医薬品名	変更前		変更後
イムノブラダー勝注用	販売元：日本ビーシージー	→	日本化薬（平成 25 年 7 月 1 日以降）
カルタン錠	販売元：マイラン	→	ファイザー（平成 25 年 7 月中）
白色ワセリン	販売元：マイラン	→	ファイザー（平成 25 年 6 月中）
ヨウ化カリウム「ヨシダ」	製造販売元：吉田製薬 ※平成 26 年 3 月末で 経過措置期間満了	→	日医工（平成 25 年 5 月 1 日以降） ※ヨウ化カリウム「日医工」を 平成 25 年 8 月頃販売開始予定

SSRI など抗うつ薬 6 種類の小児等への投与について

SSRI（セロトニン再取り込み阻害薬）や SNRI（セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬）など 6 種類の抗うつ薬（以下参照）について、小児等を対象とする臨床試験の結果、有効性が確認できなかったとの報告があったため、添付文書に小児等への投与は慎重に検討する旨が追記された。しかし、これらの薬の服用を自己判断で中止したり、量を減らしたりすると、不安・焦燥・興奮・錯乱などの精神障害や耳鳴り・電気ショックのような知覚障害などが現れることがあるため、服用中の患者やその家族は、自己判断で中止せず、医師の指示に従うことが重要である。

<対象となる抗うつ薬>

成分名	主な製品名（当院採用薬）
エスシタロプラムシュウ酸塩	レクサプロ
塩酸セルトラリン	ジェイゾロフト
デュロキセチン塩酸塩	サインバルタ
フルボキサミンマレイン酸塩	デプロメール
ミルタザピン	レメロン
ミルナシプラン塩酸塩	トレドミン

静脈ライン用コネクタとプレフィルドシリンジ製剤との 嵌合性(接続性)改良について

3月上旬より静脈ライン用コネクタシュアプラグ（テルモ）にルアースリップタイプのプレフィルドシリンジ（例：ヘパリン Na ロック用 100 単位/mL シリンジ「オーツカ」（大塚製薬工場））を接続して注入する際に、押し子が硬くて押しづらいとの事象が発生した件（DI express No.27 参照）において、原因であるシリンジ筒先外周部のわずかな段差を解消した改良品を出荷することとなった。

成分栄養剤専用「水で作れるゼリーミックス」新登場

成分栄養剤（当院採用薬：エレンタール配合内用剤、エレンタール-P 乳幼児用配合内用剤）を服用しやすくするために、新たに「水で作れるゼリーミックス」が登場。お湯を沸かす必要がなく、水で簡単にゼリー状に調製可能。

「水で作れるゼリーミックス」の詳細

原材料：グラニュー糖、pH 調整剤、増粘剤（アルギン酸ナトリウム）、乳化剤

1 袋あたりのエネルギー：17.5kcal/1 袋（5.8g）

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名 (薬品名)	主な改訂内容
エスタロプ ラムシウ酸塩 (レキサ [®] 錠)	※効能・効果に関連する使用上の注意： 海外で実施された 6~17 歳の大うつ病性障害患者対象プラセボ対照臨床試験において、6~11 歳の患者で有効性が確認できなかったとの報告がある。12 歳未満の大うつ病性障害患者に投与する際には適応を慎重に検討すること。 ※小児等への投与：海外で実施された 6~17 歳の大うつ病性障害 (DSM-IV*における分類) 患者対象プラセボ対照臨床試験において、6~11 歳の患者で有効性が確認できなかったとの報告がある。
塩酸セルトラリン (ジェゾ [®] プロト錠)	※効能・効果に関連する使用上の注意： 海外で実施された 6~17 歳の大うつ病性障害患者対象プラセボ対照臨床試験において、有効性が確認できなかったとの報告がある。18 歳未満の大うつ病性障害患者に投与する際には適応を慎重に検討すること。 ※小児等への投与：海外で実施された 6~17 歳の大うつ病性障害 (DSM-IV*における分類) 対象プラセボ対照二重盲検比較試験において、有効性が確認できなかったとの報告がある。
デュロキセチン塩酸塩 (サインバルタ [®] cap) ミルタサ [®] ピン (レモン錠)	※効能・効果に関連する使用上の注意： 海外で実施された 7~17 歳の大うつ病性障害患者対象プラセボ対照臨床試験において、有効性が確認できなかったとの報告がある。18 歳未満の大うつ病性障害患者に投与する際には適応を慎重に検討すること。 ※小児等への投与：海外で実施された 7~17 歳の大うつ病性障害 (DSM-IV-TR* (デュロキセチン塩酸塩、DSM-IV* (ミルタサ [®] ピン) における分類) 患者対象プラセボ対照臨床試験において、有効性が確認できなかったとの報告がある。 *DSM-IV-TR : American Psychiatric Association (米国精神医学会) の Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders.4th edition, Text Revision(DSM-IV-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル)
フルボキサミン酸塩 (テプロメル錠) ミルタサ [®] ラン塩酸塩 (トレドミン錠)	※効能・効果に関連する使用上の注意： 類薬において、海外で実施された 18 歳以下の大うつ病性障害患者対象プラセボ対照臨床試験において、有効性が確認できなかったとの報告がある。18 歳未満の大うつ病性障害患者に投与する際には適応を慎重に検討すること。 ※小児等への投与：類薬において、海外で実施された 18 歳以下の大うつ病性障害 (DSM-IVにおける分類) 患者対象プラセボ対照臨床試験において、有効性が確認できなかったとの報告がある。 <ミルタサ [®] ラン塩酸塩のみ> ※慎重投与：高血圧のある患者 ※重要な基本的注意：高血圧クレーゼ、血圧上昇があらわれることがあるので、適宜血圧・脈拍数等測定し、異常が認められた場合には、減量、休薬又は中止するなど適切な処置。特に高血圧又は心疾患のある患者に対しては定期的に測定すること。 ※重大な副作用：高血圧クレーゼ…血圧推移等に十分注意しながら投与すること。異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。
トルバプタン (サム効錠)	重大な副作用：肝機能障害 AST (GOT)、ALT (GPT)、γ-GTP、Al-P、ビリルビン等上昇を伴う肝機能障害があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には直ちに投与中止、適切な処置。
アンプリセントン (ケオプロリス錠) (緊急購入薬)	慎重投与：間質性肺炎の患者 重大な副作用：間質性肺炎 間質性肺炎が発現又は増悪することがあるので、咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常 (捻髪音) 等が認められた場合には、速やかに胸部 X 線・CT、血清マーカー等の検査を実施。投与後に間質性肺炎の発現又は増悪が疑われた場合には投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等適切な処置。

<p>チオピロウム臭化物水和物 (スピリーバ吸入用 cap)</p>	<p>※重大な副作用：アナフィラキシー 蕁麻疹、血管浮腫、呼吸困難等が発現することがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p>
<p>エモゾラゾールマグネシウム水和物 (ネシウム cap)</p>	<p>※重大な副作用：間質性肺炎 咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常（捻髪音）等が認められた場合には、速やかに胸部 X 線・CT 等の検査を実施。間質性肺炎が疑われた場合には投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等適切な処置。</p>
<p>トラスチマ酸 (経口剤・注射剤) (トランサン cap・注)</p>	<p>※重大な副作用：痙攣 人工心肺を用いた心臓大血管手術の周術期に投与した患者において、術後に痙攣があらわれることがある（トランサン注）。人工透析患者において痙攣があらわれたとの報告あり。観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p>
<p>ダビガトランエチキレートメタン硫酸塩 (プロザキ cap)</p>	<p>※効能・効果に関連する使用上の注意：人工心臓弁置換術後の抗凝固療法には使用しない ※その他の注意：適応外であるが、海外で実施された機械式心臓弁置換術後患者(術後 3~7 日以内又は術後 3 ヶ月以上経過した患者)を対象とした本剤とワルファリンの第 II 相比較・用量設定試験 (計 252 例) において、血栓塞栓事象及び出血事象がワルファリン投与群と比較して本剤投与群で多くみられた。特に術後 3~7 日以内に本剤投与開始した患者において、出血性心嚢液貯留が認められた。</p>
<p>ニコチン塩酸塩水和物 (タングナ cap)</p>	<p>※重要な基本的注意：高血糖があらわれることがあるため、投与中は定期的に血糖値の測定を行い、異常が認められた場合には適切な処置。 ※重大な副作用：高血糖…観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置。</p>
<p>アモキシシリン水和物 (サワリン cap、ワイドシリン細粒) クラバン酸カリウム・アモキシシリン水和物 (オーグメンチン配合錠、クラバモックス小児用配合トライシロップ)</p>	<p>※重大副作用： ・多形紅斑 ・間質性肺炎、好酸球性肺炎 咳嗽、呼吸困難、発熱等が認められた場合には、速やかに胸部 X 線・CT の検査を実施。間質性肺炎、好酸球性肺炎が疑われた場合には投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等適切な処置。</p>
<p>クラリスロマイシン (クラリシット錠、クラリシット錠小児用・トライシロップ小児用)</p>	<p>※重大な副作用：多形紅斑</p>
<p>テルビナフィン塩酸塩 (経口剤) (ラミシール錠)</p>	<p>※重要な基本的注意：紅皮症 (剥脱性皮膚炎) があらわれることがある。 ※重大な副作用： ・紅皮症 (剥脱性皮膚炎) 中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、急性全身性発疹性膿疱症、紅皮症 (剥脱性皮膚炎) があらわれることがある。 ・薬剤性過敏症症候群 初期症状として発疹、発熱がみられ、更に肝機能障害、リンパ節腫脹、白血球増加、好酸球増多、異型リンパ球出現等を伴う遅発性の重篤な過敏症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与中止、適切な処置。なお、ヒトヘルペスウイルス-6 (HHV-6) 等のウイルスの再活性化を伴うことが多く、投与中止後も発疹、発熱、肝機能障害等の症状が再燃あるいは遷延化することがあるので注意すること。 ・亜急性皮膚エリテマトーデス 観察を十分に行い異常が認められた場合には投与中止、適切な処置</p>

医薬品医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>) で確認可能

包装変更のお知らせ

★イグザレルト錠 10mg・15mg(一般名:リバーロキサバン)＜選択的直接作用型第Ⅹa 因子阻害剤＞

	従来品		→	変更品	
規格	10mg	15mg		10mg	15mg
PTP シートデザイン			→		

★キネダック錠 50mg(一般名:リバーロキサバン)＜アルドース還元酵素阻害剤＞

	従来品		→	変更品	
PTP シートデザイン			→		新バーコード「調剤包装単位」を表示

★サムスカ錠 15mg(一般名:トルバプタン)＜V₂-受容体拮抗薬＞

	従来品		→	変更品	
PTP シートデザイン			→		

★フオイパン錠 100mg(一般名:リバーロキサバン)＜経口蛋白分解酵素阻害剤＞

	従来品		→	変更品	
PTP シートデザイン			→		新バーコード「調剤包装単位」を表示

★モーラステープ 20mg(一般名:ケトプロフェン)＜経皮鎮痛消炎剤＞

	従来品		→	変更品	
薬袋開封口			→		
	開封の際、開封口が平行に切れる			開封の際、開封口に段差が付き、つまみやすく開けやすい	

★献血ヴェノグロブリン IH5%静注 0.5g/10mL・5g/100mL(一般名:ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)
 テタノブリン IH 静注 250 単位(一般名:ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン)
 ノイアート静注用 1500 単位(一般名:乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ)
 ハプトグロビン静注 2000 単位「ベネシス」(一般名:人ハプトグロビン)
 ヘプスブリン IH 静注 1000 単位(一般名:ポリエチレングリコール処理抗 HBs 人免疫グロブリン) <血液製剤>
 →各製品の瓶底に電子タグ貼付(製品のトレーサビリティ向上のため)



医薬品電子タグ